新井卓　ARAI, Takashi

1978 年神奈川県川崎市生まれ。ドイツ・ヴッパータールと川崎を拠点に活動。写真の起源を探るなかで、最初期の写真技法のひとつであるダゲレオタイプ（銀板写真）に出会い、独学で習得した。この技法を用いて、時間と空間をこえて出来事や対象と向き合う経験を伝えるイメージ・オブジェクトを制作し、それらを、主流の言説や公的な歴史に声が残されにくい個人にささげる「極小の記念物（マイクロ・モニュメント）」と位置づけている。

2010 年、保存された第五福竜丸の船体と元乗組員との出会いを機に核の歴史への関心を深め、以後、福島、長崎、広島、アメリカとマーシャル諸島の核実験場で関連する主題を探求してきた。近年は映像制作、執筆、共同研究など、領域を横断する活動へと実践を広げている。

英国の Source-Code Prize、第 41 回木村伊兵衛写真賞、イタリアの第 72 回サレルノ国際映画祭短編部門最高賞など受賞多数。2025 年には Prix Pictet: Storm のショートリストに選出された。作品はスミソニアン協会、ボストン美術館、サンフランシスコ近代美術館、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、ギメ東洋美術館などに収蔵されている。

著書に『百の太陽／百の鏡　写真と記憶の汀』（岩波書店、2023 年）、『MONUMENTS』（PGI、2015 年）など。

拠点:　ヴッパータール（ドイツ）、川崎（日本）

Email:　info@TakashiArai.com

ウェブサイト:　http://takashiarai.com

取り扱いギャラリー:

PGI（東京）	https://www.pgi.ac/
Timeless Gallery（北京）	http://www.timeless-gallery.com/
Galerie Camera Obscura（パリ）	https://www.galeriecameraobscura.fr/
Purdy Hicks Gallery（ロンドン）	https://www.purdyhicks.com/

言語:

日本語	母語
英語	C1（上級）
ドイツ語	A2（初級）

学歴:

2004	東京綜合写真専門学校 写真芸術学部第二学科 卒業（横浜）
1998–2001	国際基督教大学 教養学部理学科 在籍（東京）

教育・研究歴:

2024–現在	日本大学芸術学部 非常勤講師
2022–現在	東京藝術大学 美術学部先端芸術表現科 ゲスト講師
2021–2023	京都大学人文科学研究所「パンデミックの歴史研究に基づいたポストパンデミックの社会・環境理論の構築」研究員
2021–2022	日本大学芸術学部写真学科 非常勤講師
2019–現在	遠野文化研究センター 研究員（遠野）
2019–2020	京都大学人文科学研究所「Anima Philosophica」研究員
2017–2019	国立民族学博物館 館外研究員（大阪）
2014–2017	和光大学 表現学部芸術学科 非常勤講師（東京）
2012–2014	日本写真芸術専門学校 非常勤講師（東京）
2010–2011	東京綜合写真専門学校 非常勤講師（横浜）
2009–2013	京都造形芸術大学 通信教育部写真コース 非常勤講師（京都）

受賞歴:

2025	Prix Pictet: Storm ショートリスト
2022	千葉市市政功労賞（千葉）
2019	遠野市教育文化振興財団 教育文化特別賞（遠野）
2018	第72回サレルノ国際映画祭 短編部門最高賞（映像詩『オシラ鏡』、サレルノ）
2017	第66回 横浜文化賞 文化・芸術奨励賞（横浜）

2017　第46回 川崎市文化賞 アゼリア輝賞（川崎）

2016　第41回 木村伊兵衛写真賞

2016　日本写真協会賞 新人賞

2016　第65回 神奈川文化賞 未来賞（横浜）

2014　The Source-Code Prize（SOLAS Prize）最優秀賞（英国）

2013　Image Object Exhibit 最優秀賞, The Center for Alternative Photography（ニューヨーク）

作品収蔵:

- 愛知県美術館
- 千葉市美術館
- ハーシュホーン美術館・彫刻の庭（スミソニアン協会）
- 川崎市市民ミュージアム
- MAST財団（ボローニャ）
- ボストン美術館
- 東京国立近代美術館
- アドリアン・メンティエン美術館（ブリ＝シュル＝マルヌ）
- エリゼ写真美術館（ローザンヌ）
- ギメ東洋美術館（パリ）
- サンフランシスコ近代美術館
- 東京都写真美術館
- ピーボディ・エセックス博物館（セイラム）
- フランス写真美術館（ビエーヴル）

映像作品:

2021　『千の女と旧陸軍被服支廠のためのアンチ・モニュメント』広島（16分／カラー／H.264／2ch）

2021　『妣たちのくにへ：原爆の図 2021』（60分／カラー／DCP／5.1ch）原爆の図丸木美術館委嘱作品

2018　映像詩『オシラ鏡』（20分／カラー／DCP／5.1ch）

2014 『49 PUMPKINS』（12分／カラー／H.264／ステレオ）Artpace財団委嘱作品

2003 映像詩『Aria』（20分／モノクロ／DVD／ステレオ）

単著:

2023 新井卓（2023）『百の太陽／百の鏡　写真と記憶の汀』岩波書店

2015 新井卓（2015）『MONUMENTS』PGI

2015 新井卓（2015）『ドイツ 丘の上の小さなハカセ クラース』（「世界のともだち」シリーズ）偕成社

共著:

2026 KOJIMA, Yasutaka, MORRISON, Linsay（編）, 新井卓, SAITOH, Mika, ONO, Robert ほか（2026）『ふるさとへ／ふるさとから―日本文化における故郷意識の展開』ぺりかん社

2025 ISHII, Miho, FUJIHARA, Tatsushi (Eds.), ARAI, Takashi, et al. (2025). Nature, Disaster, and Animism in Japan: Anima Philosophica. Bloomsbury Publishing.

2025 藤原辰史, 香西豊子（編）, 新井卓, 石井美保, 岩島史 ほか（2025）『疫病と人文学　あらがい、書きとめ、待ちうける』岩波書店

2022 赤坂憲雄, 藤原辰史, 新井卓（2022）『言葉をもみほぐす』岩波書店

2021 CHEATLE, Zelda (Ed.), ARAI, Takashi, et al. (2021). The Photograph That Changed My Life. Art Cinema.

2020 赤坂憲雄（編）, 北原糸子, 港千尋, 川延安直, 新井卓 ほか（2020）『災害とアートを探る（フィールド科学の入口）』玉川大学出版部

2018 青木理, 阿古智子, 荒このみ, 新井卓, 粟津ケン ほか（2018）『3.11を心に刻んで 2018』（岩波ブックレット）岩波書店

2014 片岡英子（編）, 新井卓 ほか（2014）『TEN YEARS OF PICTURE POWER 写真の力』CCCメディアハウス

論文:

2021 ARAI, Takashi (2021). "Science Fiction Films and the Repose of Souls: Narratives and Images of Government, Scientists, Media, and Citizens, in First Godzilla and Shin

Godzilla." Anima Philosophica: Nature, Disaster, and Animism in Japan, 京都大学人文科学研究所（査読あり）

2020 ARAI, Takashi (2020). "A Brief History of Portrait Photography and Today's Practice: For the Partage of Others' Memories."『日本オーラル・ヒストリー研究』16号, 日本オーラル・ヒストリー学会, pp.35-91（査読なし）

展覧会カタログ:

2025 『Storm』Prix Pictet

2022 『Squaring the Circles of Confusion: Neo-Pictorialism in the 21st Century』王立写真協会, ブリストル

2021 『世界不随人類生滅 The world began without the human race, and it will end without it』国立台湾美術館, 台中

2022 『千の葉の芸術祭』千葉市

2021 『AFTERGLOW――光の破片をつかまえる：ヨコハマトリエンナーレ2020』横浜市芸術文化振興財団, 横浜

2017 『新井卓　Bright was the Morning／ある明るい朝に』横浜市芸術文化振興財団, 横浜

2016 『?The Image as Question: An Exploration of Evidential Photography』マイケル・ホッペン・ギャラリー, ロンドン

2016 『Memory of the Future: Photographic Dialogues between Past, Present, and Future』エリゼ写真美術館, ローザンヌ

2016 『DUBAI PHOTO 2016』

2015 『In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11』ボストン美術館, ボストン

2014 『これからの写真』愛知県美術館

2013 『六本木クロッシング2013展：アウト・オブ・ダウト』森美術館

2013 『百の太陽に灼かれて』尼崎文化センター

2012 『写真の現在4――そのときの光、そのさきの風』東京国立近代美術館

2010 『Immemorial Foreseeing――遠い昔の予感』Fellini Gallery, 上海

2010 『Héritages de Daguerre』ルイ・ダゲール協会, フランス

個展:

2025 「日日（にちにち）の鏡／Quotidian Mirrors」Timeless Gallery, 北京

2024 「Tono: Forests Afar」Purdy Hicks Gallery, ロンドン

2023 「日日（にちにち）の鏡／Quotidian Mirrors」PGI, 東京

2020 「1000 Days / 1000 Mirrors」Purdy Hicks Gallery, ロンドン

2019 「Imago／イマーゴー」PGI, 東京

2019 「Tomorrow's History」カールスルーエ州立美術館, カールスルーエ

2017 「明日の歴史のために」ギャラリー・オフグリッド, 福島

2017 「Cent Soleils」Galerie Camera Obscura, Mois de la Photo 2017, パリ

2017 「横浜フォトアニュアル2017：Bright was the Morning／ある明るい朝に――新井卓展」横浜市民ギャラリーあざみ野, 横浜

2016 「MONUMENTS」第41回木村伊兵衛写真賞受賞作品展, コニカミノルタプラザ, 東京

2015 「遠野的召喚：新井卓銀版攝影展」泰吉軒（Timeless Gallery）, 北京

2015 「竜の鱗――アトミック・エイジのモニュメント」東京都立第五福竜丸展示館, 東京

2014 「Silverplated」Artpace San Antonio, テキサス州サン・アントニオ

2014 「百の太陽に灼かれて／EXPOSED in a Hundred Suns」PGI, 東京

2013 「D-type Story」泰吉軒（Timeless Gallery）, 北京

2013 「特別企画展：百の太陽に灼かれて／EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」尼崎文化センター, 兵庫

2013 「彼岸の花／Flowers in Equinoctials」空蓮房, 東京（協賛：長應院）

2013 「Here and There――明日の島」銘醸館, 南相馬

2013 「EXPOSE2012：百の太陽に灼かれて／BEING EXPOSED IN A HUNDRED SUNS」KEN, 東京

2012 「福島から広がる視線2　MIRRORS HALF ASLEEP　新井卓銀板写真展」原爆の図丸木美術館, 東松山

2012 「Here and There――明日の島」銀座ニコンサロン, 東京／大阪ニコンサロン, 大阪

2012 「Dream of Images」泰吉軒（Timeless Gallery）, 北京（協賛：Timeless Gallery）

2012 「夜々の鏡／Mirrors in Our Nights」川崎市市民ミュージアム, 川崎

2012 「光、礫（いし）、水――ダゲレオタイプ、拾得物、映像による〈滝〉」明治大学生田図書館 Gallery ZERO, 川崎

2009 「Flawless Lakes」Project Basho, フィラデルフィア

2007 「Toward Lakes」engawa, 葉山町

2007 「ハーフミラー／Half Mirror」Space Gallery Roundish, 大阪

2006 「鏡ごしのランデヴー／Rendezvous on Mirror」横浜美術館, 横浜

2001 「（海、空白の……）」Cafa Cabiria, 東京

主なグループ展:

2026 「木村伊兵衛写真賞50周年記念展」東京都写真美術館, 東京

2026 「Pan-Pacific Triennale」国立台湾史前文化博物館, 台東

2026 「(Faire) face au nucléaire」Le Delta, ナミュール

2025–2027 「Prix Pictet: Storm」ヴィクトリア&アルバート博物館, ロンドン（シカゴ現代写真美術館、東京都写真美術館〔いずれも2026年〕ほか国際巡回）

2025 「Fotográfica Bogotá 2025: Significados Ocultos」ボゴタ

2025 「Picturing Invisible: Earthquake, Meltdown, Memory」Cité Miroir, リエージュ

2023 「Squaring the Circles of Confusion: Neo-Pictorialism in the 21st Century」スカボロー美術館, スカボロー

2023 「Picturing Invisible: Earthquake, Meltdown, Memory」Heong Gallery, ケンブリッジ大学ダウニング・カレッジ, ケンブリッジ

2023 「誰かのシステムがめぐる時」TOKAS本郷, 東京

2022 「Prix Pictet Japan Award: Fire and Water」東京都写真美術館, 東京

2022 「Squaring the Circles of Confusion: Neo-Pictorialism in the 21st Century」王立写真協会, ブリストル

2022 「Picturing Invisible 冥々を写す」ミュンヘン工科大学（TUM）, ミュンヘン

2021 「In Retrospect」Purdy Hicks Gallery, ロンドン

2021 「IO-2: Care――不確かな時代のダゲレオタイプ」PGI, 東京

2021 「The world began without the human race, and it will end without it」国立台湾美術館, 台中

2021 「At the Shoreline」CHIBA PHOTO, 好日亭, 千葉

2021 「Photographic Occurrences」Cook Center Process Gallery, インディアナ大学, ブルーミントン

2020 「AFTERGLOW――光の破片をつかまえる：ヨコハマトリエンナーレ2020」横浜美術館, 横浜

2019 「Feel the Sun in Your Mouth: Recent Acquisitions」ハーシュホーン美術館・彫刻の庭, ワシントンDC

2019 「Visible Memories of Technologies」全北大学校自然史博物館, 全州

2019 「VOCA展2019」上野の森美術館, 東京

2018 「三」ギャラリー交差611＋旧日本銀行広島支店, 広島

2017 「DAY TO DAY 日々の記録から学ぶ写真」GALLERY FOREST, スペース56, 東京綜合写真専門学校, 横浜

2017 「KAERU」Chi-Wen Gallery, 台北

2017 「The Power of Images: MAST Collection. An iconic selection of photographs on industry and work」MAST財団, ボローニャ

2017 「Photobook Phenomenon」Centre de Cultura Contemporània, バルセロナ

2016 「Unclear Nuclear」URANO, 東京

2016 「Why Not Ask Again：第11回上海ビエンナーレ」上海当代芸術博物館（Power Station of Art）, 上海

2016 「Japanese Photography from Postwar to Now」サンフランシスコ近代美術館

2016 「?The Image as Question: An Exploration of Evidential Photography」マイケル・ホッペン・ギャラリー, ロンドン

2016 「In the Wake 震災以後：日本の写真家がとらえた3.11」アジア・ソサエティ, ヒューストン

2016 「A New and Mysterious Art」ハワード・グリーンバーグ・ギャラリー, ニューヨーク

2016 「Photo Shanghai」上海展覧中心, 上海

2016 「Samuel F. B. Morse's Gallery of the Louvre and the Art of Invention」ピーボディ・エセックス博物館, セイラム

2016 「Paradise Lost」ヴィラ・ロット美術館, ウルム

2016 「Memory of the Future: Photographic Dialogues between Past, Present, and Future」

エリゼ写真美術館, ローザンヌ

2016 「Festival Photo La Gacilly」ラ・ガシイ, ブルターニュ

2016 「AIPAD 2016」パーク・アベニュー・アーモリー, ニューヨーク

2016 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ジャパン・ソサエティー, ニューヨーク

2016 「Dubai Photo」D3 Design District, ドバイ

2016 「第3回 IMAGINE FUKUSHIMA」コートギャラリー国立, 東京

2015 「To What End?」カメラ・オーストリア, グラーツ

2015 「In the Wake: Japanese Photographers Respond to 3/11」ボストン美術館, ボストン

2014 「これからの写真」愛知県美術館, 名古屋

2014 「写真とことば、記憶の種　福島―東京」世田谷生活工房, 東京

2013 「六本木クロッシング2013展：アウト・オブ・ダウト」森美術館, 東京

2013 「IO-1: Image Object Exhibit」The Center for Alternative Photography, ニューヨーク

2012 「OVER THE REALITY」Gallery Terra Tokyo, 東京

2012 「写真の現在4――そのときの光、そのさきの風」東京国立近代美術館, 東京

2011 「EXPOSE 死の灰」KEN, 東京

2011 「美術館のなかの写真館プロジェクト」横浜美術館, 横浜

2010 「Immemorial Foreseeing――遠い昔の予感」Fellini Gallery, 上海

2009 「Héritages de Daguerre: Exposition en France de Daguerréotypes contemporains internationaux et Diorama de Bry-sur-Marne」アドリアン・メンティエン美術館, ブリ＝シュル＝マルヌ

2007 「City Panoramic」san art, ホーチミン

2004 「洋上の浮子、花の筏」横浜赤レンガ倉庫, 横浜

企画・キュレーション:

2021 「IO-2: 現代ダゲレオタイピスト展＋国際シンポジウム　Care――不確かな時代のダゲレオタイプ」PGI, 東京

2014 「写真とことば、記憶の種　福島―東京」世田谷生活工房, 東京

主なシンポジウム・講演:

2026.11.6	「Art for Tomorrow」パネルディスカッション「Embracing Heritage With an Eye to the Future」Fereej Al Asmakh, ドーハ
2025.9.25	「Prix Pictet: Storm」パネルディスカッション, ヴィクトリア&アルバート博物館, ロンドン
2025.8.1–16	アートコレクティヴ・爆心へ　アート・バスツアー, 広島, 長崎, 東京
2024.1.18	新井卓「The Daguerreotype at the End of Our World」大和日英基金, ロンドン
2023.6.5	新井卓「十万年の森」フィンランドセンター, 東京
2022.10.20	新井卓 トーク「Squaring the Circles of Confusion」王立写真協会, ブリストル
2022.6.11	新井卓「わたしたちのいない世界のための写真――現代ダゲレオタイプの時空間、物性、記憶と記録」（基調講演）令和4年度日本写真芸術学会年次大会, 日本大学, 東京
2021.3.13	「ル・ラボ vol.34：災禍のまなざしのなかで、福島とともにつくる」アンスティチュ・フランセ東京, 東京
2020.5.26	「Handmade Photography Today: A Virtual Artist Talk with Takashi Arai」デイヴィス美術館, ウェルズリー大学, マサチューセッツ
2019.10.24–27	新井卓 "Science Fiction Films and Repose of Souls: The Narratives and Images of Government, Scientists, Media, and Citizens, in First Godzilla and Shin Godzilla" 第5回東アジア環境史学会（EAEH 2019）, 国立成功大学, 台南
2019.9.19–23	新井卓 "Sharing Memories on Micro-Monuments: Photographs as Image-Objects and Their Surface to Interface Individuals' Recollections" 国際東アジア科学技術医学史学会（ICHSEA 2019）, 全北大学校, 全州
2019.3.10	新井卓「肖像写真から聞こえる声――物語の〈余剰〉をめぐって」日本オーラル・ヒストリー学会「ビジュアル・オーラル・ヒストリーの可能性と現在」, 東京
2018.11.8–10	新井卓 "Sharing Individual Memories on Micro-Monuments: Daguerreotype and New Narratives for the Atomic Age" フィリピン人類学会（UGAT）, パラワン州立大学, パラワン
2017.10.26–31	新井卓 "Sharing Individual Memories on Micro-Monuments: Daguerreotype and

New Narratives for the Atomic Age" 第4回東アジア環境史学会（EAEH 2017）, 南開大学, 天津

2015.11.5 新井卓 "In the Shades on Mirrors: Daguerreotypes as Micro-Monuments for the Atomic Age" J・ポール・ゲティ美術館, ロサンゼルス

2015.3.14 新井卓 "Exposed in a Hundred Suns: US-Japan Nuclear Legacies and the New Daguerreotypes as Micro-monuments" Society for Photographic Education, ニューオーリンズ

2012.7.21 パネルディスカッション「写真の現在4」東京国立近代美術館, 東京

2012.3.31 パネルディスカッション「Fukushima Now」Bay Area Artists for Japan, Kala Art Institute, バークレー

鼎談「写真とことば」池澤夏樹・鷲尾和彦・新井卓, ニコンプラザ, 東京

2010.6.29 新井卓「いま、なぜダゲレオタイプなのか？」（招待講演）日本写真学会セミナー, 東京ビッグサイト, 東京

アーティスト・イン・レジデンス:

2025 Center for Creative Photography, Galleria Ratamo, ユヴァスキュラ（フィンランド）

2023–2024 Künstlerhaus Bethanien International Studio Programme, ベルリン（文化庁新進芸術家海外研修制度による）

2022 Helsinki International Artist Programme（HIAP）, ヘルシンキ（トーキョーアーツアンドスペース共催）

2014 Artpace San Antonio 2014年秋期インターナショナル・アーティスト・イン・レジデンス, テキサス州サン・アントニオ

2006 横浜美術館アーティスト・イン・ミュージアム（AIMY）2006, 横浜市芸術文化振興財団, 横浜

助成:

2026 小笠原敏晶記念財団 現代美術調査研究助成

2021–2025 野村財団 芸術文化助成

2023 文化庁 新進芸術家海外研修制度

2022 トーキョーアーツアンドスペース 2022年度二国間交流事業プログラム, 東京都現代美術館

2021 第2期東京芸術文化創造発信助成, IO-2: 現代ダゲレオタイピスト展＋国際シンポジウム

2021 ポーラ美術振興財団 美術に関する国際交流助成, IO-2: 現代ダゲレオタイピスト展＋国際シンポジウム

2015 SPE International Conference Grant, Society for Photographic Education

2014 International Artist-In-Residence, Artpace財団

2006 横浜美術館滞在制作プログラム（AIMY）, 横浜市芸術文化振興財団

主な寄稿:

2023 「ダゲレオタイプ、そのいくつもの歴史――十九世紀ダゲレオタイプの多様性と現代におけるビン・ダンの試み」『美術フォーラム21』47号, 醍醐書房, pp.31-37

2022 「炭取をまわす死者たち―『遠野物語』とモノ、イメージ、浦田穂一をめぐる覚書」『現代思想』2022年7月臨時増刊号「総特集＝遠野物語を読む」, 青土社, pp.208-216

2022 「「令和鎖国」で引き裂かれる家族たち――〈極私的〉記録から」『なみのおと』岩波書店
https://note.com/iwanaminote/n/nbb6c4763c4e3

2021 「HERE and THERE – TOMORROW'S ISLANDS」Revue Reliefs n°14 – Forêts, パリ, pp.86-96

2017–2019 連載「陽の光あるうちに」『現代詩手帖』思潮社

2017–現在 連載『水牛のように』

2017 「銀板写真で「核の記憶」を追う」『ナショナル ジオグラフィック日本版』2017年3月号

2017 「新しいモニュメントの到来のために――極小の記念物（マイクロ・モニュメント）の時代」（短期連載）『図書』2017年1–3月号, 岩波書店

2017 「特集17：明日の歴史のために――ダゲレオタイプで写す、十七歳の肖像」『すばる』2017年1月号, 集英社, pp.100-106

2017 「もう一度、見ることの困難さとともに」『すばる』2017年10月号, 集英社

2017 「MONUMENTS」『グラフィケーション』2017年10月号, 富士ゼロックス

2016 「Shigeo Gocho 1946-1983」Camera Austria No.132, グラーツ

2015 「新井卓 ダゲレオタイプで記憶をとらえる」『芸術新潮』2015年12月号, 新潮社

2014　「遠野、早池峰への旅」『春秋』2014年1月号, 春秋社, pp.5-8

2013　「ダゲレオタイピスト、新井卓」『PHaT PHOTO』79号

2012　「願いを込めて銀板に刻む被災地の記憶」『ニューズウィーク日本版』2012年3月1日号, pp.64-67

2011　「まなざすこと、希うこと」『春秋』2011年4月号, 春秋社, pp.12-15

2011　「鏡の両岸で出会うこと」『春秋』2011年1月号, 春秋社, pp.14-18